



盛岡市議会議員

いせ志穂(市民会議)

事務所 〒020-0133 盛岡市青山3-29-4 TEL&FAX 019-645-8510

http://Ise.nahan.jp/ E-mail:Ise@nahan.jp

声を力に!政治を変えよう

■もはや政権担当能力のない自民党

9月1日、福田元首相が突然の辞任表明。安倍前首相と二代続けて政権を投げ出した形になりました。年金問題や後期高齢者医療制度への不信感が広がる中で、ガソリンをはじめとする物価の高騰、事故米問題など山積する諸問題に一切こたえないままの辞任は不誠実きわまりないものです。

麻生新政権が出来てからも、解散総選挙の日程すら確定できないなど、自民党は政治方針を見いだせていません。これでは、危機の時代に対応する新たな政治を作り出すことなど出来るはずがありません。

■問われているのは「官僚政治の打破」

2001年4月に誕生した小泉内閣があればほど熱狂的に支持されたのは、官僚政治への批判を明言したからだと思います。しかし、約5年半続いた小泉政権時代の改革は、かけ声だけのもので終わってしまいました。税金を特殊法人へ廻していく構造は、何ら変わらなのまま生き残っています。

小泉以降の内閣が、官僚政治を変えていくことにどんどん消極的になっていくのを見るにつけ、やはり、ほんの数年を例外として、戦後一貫して官僚政治を行ってきた自民党にはそこから脱却する自浄能力がすでになくなっていくのだと思わざるを得ません。

私は必ずしも、野党に絶対の信頼をおいているわけではありません。しかし、去年の参

院選での与野党逆転で国政調査権を手にした民主党が、今まで隠されてきた事実を次々と明らかにしてくれたことは事実です。まず、官僚支配の実態を国民が知り、それを止めるよう世論を作り上げていくことが何よりも重要だと考えます。

そのために、きたる総選挙で政権交代を実現したいと考えます。

■政治を変える力は市民が持っている

小泉政権の誕生にしても去年の参院選での与野党逆転にしても、既成の政党や団体の力ではなく、市民一人一人の判断と行動の力によって生まれたものです。

残念ながら、現在の日本が直面している「景気の低迷・格差の拡大」を解決する決定的な方針は、まだ明確になっているわけではありません。

しかし、私たち市民が政治から目をそらさず、どうすれば良いのかを真剣に考えれば、必ずや明日の日本の方向性を見つけることが出来ると信じています。

きたるべき政治決戦の結果は、日本の今後に大きな影響を与えるものです。

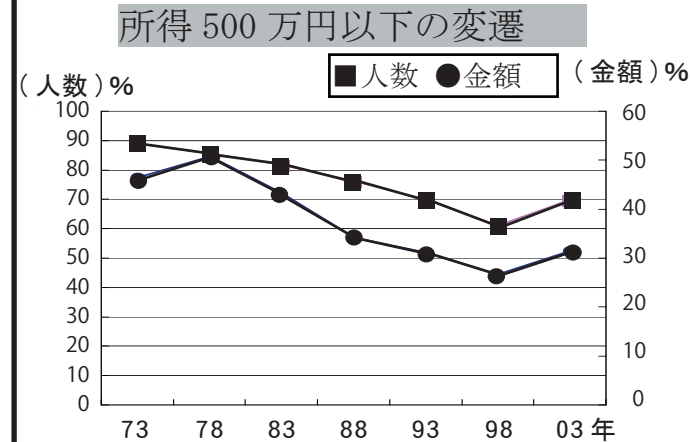
官僚支配を打ち破り、新たな日本の方向性を国民が選択できる条件を勝ち取るために、私は精一杯頑張る所存です。

多くの皆様のご理解とご協力が得られますよう、お願いをいたします。

こんな日本が作りたい その第一歩を一緒にふみ出しましょう

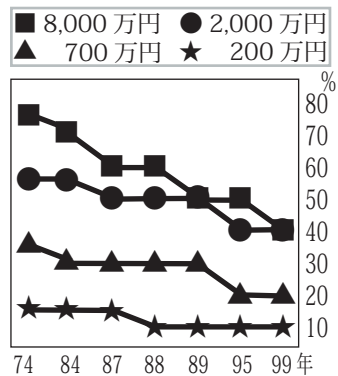
—「格差の是正・官僚主義の打倒・公平な競争の保障・多様性を認める社会の構築」を目指して活動してきました。その実現のために、現在考えている改革を提案します—

■税制



所得 500 万円以下の確定申告をした人が全体に占める割合を示したのが上のグラフです。83 年以降、人数よりも所得金額の減りが激しいので、一人あたりの所得が減少しているといえます。

所得税率の変遷



累進課税(所得が増えるほど高率の税率にしていく制度)を強化していくべきです。

また、小泉首相の時代から株譲渡の税金が減税されています。これは投機経済に拍車をかけることで、実質経済を混乱させる政策です。例えば、昨年末からの原油の高騰は先物買いが加熱した結果だと言われています。

バブル景気をあおるような政策は辞め「税の再配分機能」を強化し、格差の解消に努めることが急務です。

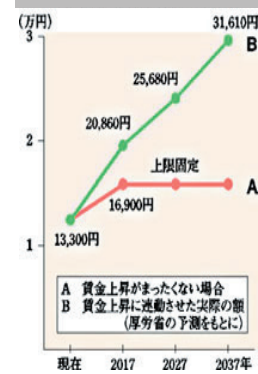
■年金など社会保障

ここ 5 年以内にざっと見たただけで次の社会保障の縮小が行われています。

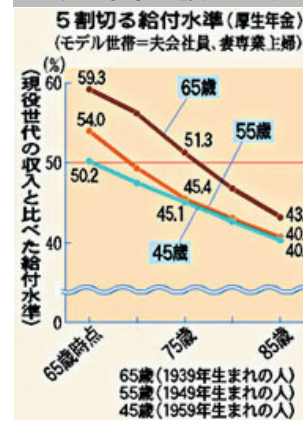
- ・年金の保険料値上げと給付の縮小
- ・健康保険制度の改定と後期高齢者医療制度の導入
- ・障害者自立支援制度導入

これらの社会保障の切り捨ては、現在の景気の後退とあいまって、市民生活を苦しめています。

年金保険料の増大



年金受給額の減少



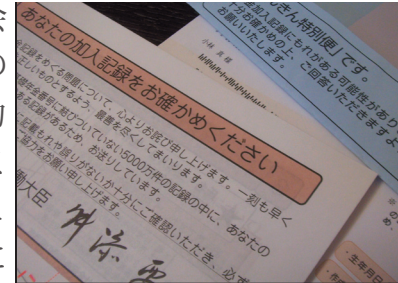
特に年金制度は「消えた年金」問題で明らかになったように、正しい運用がなされておらず、果たして将来に渡って安心した制度になっているのか不安です。まず、年金に関する基本データを国民の前に明らかにすると共に、複雑な制度を一元化していく必要があります。また、税金と同じように、納付・給付を所得に合わせて決定するという方向で考えるべきでしょう。

また、医療を受けづらくなるなどの理由で反対の声が高い後期高齢者医療保険は、一旦廃止にして、安心できる医療保険のシステムを考え直すべきでしょう。

誰もが不慮の事故や病気によって、社会保障が必要になる可能性があります。ここが安定することが、社会の安定につながると思います。「出し惜しみ」してはなりません。

■行政システム (国家官僚や地方自治体の行政機構)

昨年 5 月の国会で、社会保障庁のコンピュータ入力した年金記録にミスや不備が多いことなどが明らかになり、国会やマスコミにおいて社会保障庁の年金記録のずさんな管理が指摘され、国民から大きく批判されたのは記憶に新しいことです。



戦後の日本の政治は、官僚が国家予算を公共事業などに投資して景気をコントロールしてきました。それ故、政治家も地方自治体も補助金欲しさに国家官僚に逆らえず、絶大な権力を持つことになったのです。ある意味、現在の官僚の度重なる不祥事は、起こるべきして起こったと言えるでしょう。

しかしバブル崩壊以降、いくら公共事業を行っても景気が上向くことはありませんで

た。今後も低成長時代が続くと思われる中、今までのあり方を変えなければなりません。財政が厳しいため、今後の行政は効率的でなければなりません。まず、官僚の天下り先である特殊法人などは、廃止も含めた大幅な縮小をすることが必要です。

また、今までは地方の道路や都市計画、箱ものなどを、国が計画して補助金を付けるやり方を改め「自分たちの地域のことは、自分たちで決める」形に変えていくことも必要です。(この内容は、2000 年 4 月から「地方分権一括法」として施行されているが、利権を手放さない官僚とのせめぎ合いの中で、税源移譲などが不十分なままで今まで来ている)

加えて、不正を行った官僚個人に対してその責任を問える制度を作ることも必要です。

考え方としては、官僚が税金の権限を持つ今までのやり方から国民が官僚を管理し、税金の使い方を自ら決定して行くシステムを作るといふことです。

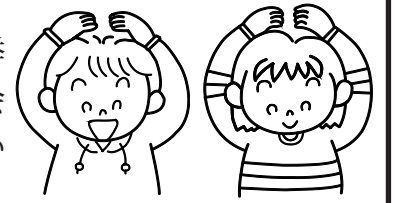
■議会 — ボランティア選挙を広げて、市民のために働く議員を増やそう

現在、多くの人たちが議会に期待しないのは議員と市民との距離が離れてしまっているのが原因だと思います。議員は市民の要望をもっと知らなければならないし、それに沿って活動を行わなければならないと思いますが、市民の要望よりも所属政党やそれを支援する団体の利益を優先する動きが目につくように思います。

私は「政治活動を行う際に、市民の利益よりも特定の団体の利益を優先することがないように」と考え、既成政党や団体から応援を受けず

に選挙を闘ってきました。選挙のやり方は、議員のその後の活動を規定します。市民がボランティアで候補を支援する「ボランティア選挙」が広がり、それによる議員が増えていけば、政治は必ず変わっていきます。

ボランティア選挙の輪を広げて議会を、政治を変えていきましょう。



市 政 報 告

■固定資産税の全戸調査

盛岡市は固定資産税の適正な課税のために市内にある全家屋の一斉調査を行っています。開始から20数年経った今でも、まだ市内を一巡していません。「徴集権が5年で時効により消滅することを考えれば5年以内に主要地区の調査を終えることが望ましい」と包括外部監査でも指摘されています。

これに対して盛岡市は4年後までに調査の一巡を終える計画をたてていますが、具体的な計画ははっきりしていません。9月議会の一般質問でこの点を指摘し、調査員の増員を要望しました。

実際に、自宅敷地内の建物を撤去した後10年近く経ってから税金が変更され、長期に渡って本来の課税額より多く税金を納付していた市民の方からご相談をいただいたこともありますので、固定資産税について疑問をお持ちの方はお気軽にご相談下さい。

■学校給食での汚染米使用について

2006年～07年に渡って、シラス入り厚焼き玉子・手作り厚焼き玉子に汚染米（カビ混入）を原料に作られた可能性のある「でん粉」が小学校の給食に使用されていました。（2005年にも使われていた可能性があります。現在調査中です）

使われていたことが明らかになっている学校は山岸・東松園（2回）・緑が丘・青山・高松・

中野・本宮の7校です。

教育委員会の報告では「混入は微量のため直接的な健康被害はないと思われる」とのこと。

盛岡市では、現在行っている黒石野中学校での試行を皮切りに4年後までには全ての中学校でランチボックス給食を導入する予定。

今回の事件は、国の監視体制に問題があり、市では予測不可能だったかもしれませんが、これを契機に給食食材の安全性をさらに高める努力を行うべきです。特に、安全性を管理しやすい地場産品を利用するように、今後も働きかけていきます。

■大通りに自転車駐輪所が設置される

大通り路上にあるパーキングチケット駐車場の一部が駐輪場となりました。

大通りは歩道に乗り上げる形で駐輪帯が設置されており、これが歩行者の妨げになると以前から自転車利用を促進する市民団体「盛岡自転車会議」やバリアフリーを求める障がい者団体から指摘されていましたが、それに応える形での設置です。

自転車は気軽な乗り物であるが故に、ついつい、用事のある場所の近くに駐輪してしまいます。しかし、それが歩行者の邪魔になることがあります。

新しくできた駐輪場をどんどん利用してくださるよう、お願いいたします。

お手伝いください

いせ志穂事務所と市民会議はボランティアとカンパで運営されています。このニュースを知人に見せたりポスティングなどお



手伝いいただける方はぜひご協力をお願いします。

カンパのお願い

景気の低迷や諸物価の高騰のうちに心苦しいのですが、来るべき政治決戦もボランティアとカンパで闘います。可能な方はご協力いただけますようお願い申し上げます。

